

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	基礎看護学		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	基本技術 I (環境調整)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	20 <small>時間(単位)</small>
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	1年生の教室及び実習室
担 当 教 員	溝辺ゆかり	実務経験と その関連資格	看護師として病院等で23年勤務			
《科目目標》						
1.人間の健康に影響を及ぼす環境について理解できる。 2.援助の原理原則を基本に安全・安楽な援助実践を思考できる。 3.対象に応じ看護実践できる力を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験(30%)、課題・授業態度(35%)で総合的に評価する。 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満する。 【担当配点】65点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術 MCメディカ(デジタル版) 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院(デジタル版) ナイチンゲール看護覚え書(第8版)現代社						
《授業外における学習方法》						
・講義、演習は予習を前提として行うため、事前課題を確認して必ず取り組んだうえで授業に臨む。 ・事前に動画を視聴することで実践のイメージを付けて演習に臨む。演習後には技術ノートに追加修正をし自己のノートを作成する。						
《履修に当たっての留意点》						
ベットメイキング、リネン交換、環境整備の技術習得には、計画的で自主的な技術練習が必要です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	環境の意義と看護について理解を深める	教科書 P.30-35	ipadに騒音測定アプリを入れておくこと 使用教材の指定のページを一読しておく	
		各コマにおける授業予定	環境と人間			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	環境の意義と看護について理解を深める	教科書P.33-35	使用教材の指定のページを授業前に一読しておく	
		各コマにおける授業予定	環境と看護について			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	患者を取り巻く病床環境について理解を深めることができる	教科書 P.30-41 基礎・臨床看護技術 P.2-5	使用教材の指定のページを一読しておく	
		各コマにおける授業予定	環境を整える技術(環境整備) 病室の環境と病床内環境			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	患者を取り巻く病床環境について理解を深めることができる	教科書 P.30-41 基礎・臨床看護技術P.2-5	使用教材の指定のページを一読しておく	
		各コマにおける授業予定	環境を整える技術(環境整備) 病室の環境と病床内環境			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	患者を取り巻く病床環境について理解を深めることができる	教科書 P.30-41 基礎・臨床看護技術 P.2-5	事後課題提出	
		各コマにおける授業予定	環境を整える技術(環境整備) 病室の環境と病床内環境			

